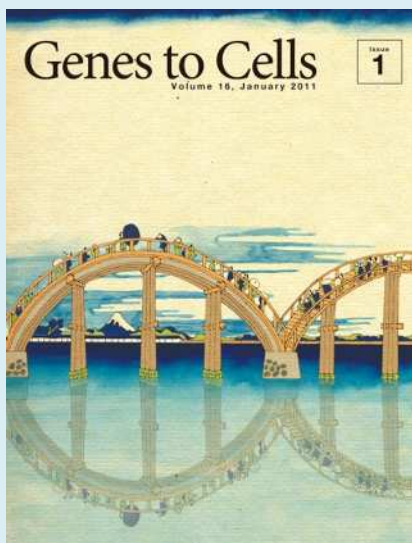




特定非営利活動法人

# MBSJ 日本分子生物学会

The Molecular Biology Society of Japan



日本分子生物学会が会員数600名で発足した1978年当時は、組換えDNA技術が国内で広まりつつあり、分子生物学が<生物学の一研究分野>から<生命現象を解明するための共通言語>に移行した時期にあたります。学問の新しい流れに大胆且つ柔軟に取り組み、分子生物学という共通言語を使ってボーダーレスに議論するために設立されたのが分子生物学会なのです。この『学際的』で自由な雰囲気こそが分子生物学会のアイデンティティーであり、さまざまな分野の研究者を惹きつける求心力となっているのではないのでしょうか。

『学問の進歩にともない、それぞれの分野はますます分化する傾向にあります。分子生物学会は、広い領域にまたがる研究者がそれぞれの専門分野で研究を続けつつ連携し、真に学際的立場に立脚した生命科学をつくることを目指しております。』

(日本分子生物学会設立趣意書〔1978年〕より)



学会公式  
キャラクター  
ブンピー

この学際性という理念は、13,000名を越える会員を擁する生命科学系で国内最大の学会となった現在にいたるまで脈々と受け継がれています。

研究活動の柱となる年会（学術集会）の開催や学会誌（学術論文誌）の刊行に加え、近年では若手研究助成や国際会議の開催支援により、若手研究者の活躍の機会を増やすと同時に、日本発の研究を世界に向けて発信する取り組みも行っています。学校教育現場のサポートや、研究に関わる仕事で働くためのキャリアパス形成の推進、研究倫理の啓発などにも力を入れています。

## 年会

学会の最大の活動である年会では、多様な分野の研究者が集い、立場を超えて生命科学を包括的に議論できる場を提供しています。

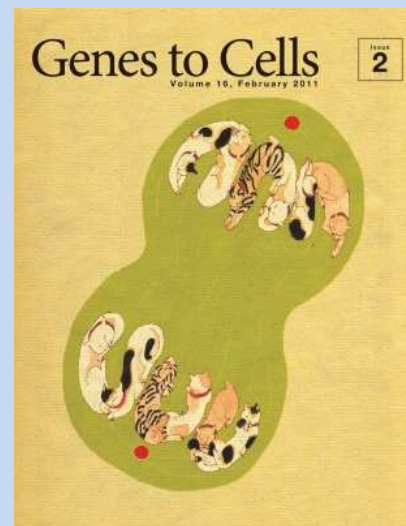
近年の参加者数は7,000名を超え、一般演題も3,000件近く集まり、会場は熱気と活気に溢れています。また、高校生研究発表の枠を設ける試みも好評を博しています。

年会では、一般の方が参加できる市民公開講座も開催しています。

## Genes to Cells

1996年に創刊された学会誌『Genes to Cells』は、生命科学分野において国際的に高い評価を得ている英文のオンラインジャーナルです。会員にはフリーでアクセスしていただけます。

実験、理論、フィールドワーク、方法論など生命科学のどの分野の論文でも受け付けています。



## 高校などへの講師派遣

全国の大学や研究所、企業などに所属している会員有志の協力により、高校などへ無償で講師を派遣しています。

学習の進み具合に関係なく、生物学の面白さを伝えることに主眼をおいた講義など、様々なご希望にお応えしています。また、学生向けの講義だけでなく、教員の方向けに最新の分子生物学に関する情報をお届けするための講演会や講習会などにも対応しています。



学会公式  
キャラクター  
ニラセン

特定非営利活動法人 日本分子生物学会 事務局  
〒102-0072  
東京都千代田区飯田橋2-11-5 人材開発ビル4階  
TEL : 03-3556-9600 FAX : 03-3556-9611

(お問い合わせ全般) E-mail : [info@mbsj.jp](mailto:info@mbsj.jp)  
(高校などへの講師派遣に関して) E-mail : [education@mbsj.jp](mailto:education@mbsj.jp)  
<https://www.mbsj.jp/>  
<https://www.facebook.com/mbsj1978>